福岡市海の中道青少年海の家
2021年11月10日改訂

キャンプファイヤーの進め方

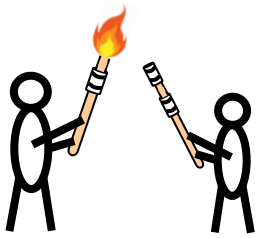
	内容の例
入場・整列	静かに入場し、火床を囲み座る。
第1部 迎え火の集い 【時間：15分程度】	
①はじめの言葉 【司会】	「ここ青少年海の家にも、夜のとばりがおりてきました。しばらく、波の音や風の音に耳を傾けてみましょう。(間)この静かで、恵まれた自然の中で、友達の豊かな心を確かめ合い、友情を深めていきましょう。それではキャンプファイヤーを始めます。」
②歌	「遠き山に日は落ちて」「夕焼け小焼け」など ※2番からハミング
③火の神様 入場	ハミングに入ると、火の神様がトーチを持って入場し、火床を1周する。 ※「火の神様」と呼ばれて、登場しても良い。
④火の神様の言葉	「太古の人間は弱く牙をもった獣に追われ、暗い洞窟の中でひっそりと暮らしていました。 しかし、山火事や火山から火を知り自ら火をおこし、道具をつくり家を立て舟を作り、動物より強く大きくなりました。 火は良いこともできますが、争いにも使われます。火を正しく使い平和な世界ができるよう火を囲みそのような思いをこめてキャンプファイヤーを楽しみましょう。」
⑤点火	火の神様が代表の研修生に分火を行い、中央の薪に点火。
⑥歌	「燃えろよ燃えろ」など ※火の神様は歌の後、所定の場所に着席し、活動を見守る。(もしくは退場)
第2部 交歓の集い 【時間：60分～90分程度】	
レクリエーション	全員で歌や踊り、ゲームをして楽しむ。 班・クラスからの出し物 など ◇ゲーム：「猛獣狩り」「木こりとリス」「ジェスチャーゲーム」「こんばんはゲーム」 など ◇ダンス：「マイムマイム」「オクラホマミキサー」「ジェンカ」 など
第3部 送り火の集い 【時間：10分程度】	
①火の神様の言葉	「あんなに赤々と燃えていた火も、今は静かに大地に帰ろうとしています。でも、皆さんの胸の中には赤々と燃える炎が見えるはずです。目を閉じると一生懸命燃えている火と、その周りで楽しそうに歌っている皆さんの顔が見えてきます。その一枚の絵をこの素晴らしい宿泊学習の体験と共に生涯もち続けてください。」
②歌	「今日の日はさようなら」など ※2番からハミング
③火の神様 退場	ハミングに入ると、火の神様は火床を1周して退場
④終わりの言葉 【司会】	「私たちのキャンプファイヤーも終わる時を迎えました。 このつどいで築いた友情と力を明日からの生活の中に活かしてください。 皆さんが、1つにまとまり、大きく発展していくことを願いながら、キャンプファイヤーを終わります。」
退場	静かに退場する。

● 留意事項

(1)大まかな流れについては、あらかじめ説明しておく。

(2)司会進行を研修生にさせる場合は、事前に指導しておく。

(3)分火の仕方

トーチは、肘を伸ばし45℃の角度で持つ。

移動する際は、周りに気をつける。